

平成23年10月分 高知県の電力需要について

需要の概要

平成23年10月の販売電力量は、3億5千3百万kWh、対前年比94.5%となった。

需要実績

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	135	96.3	1,023	95.8	693	96.8	5,312	95.2
	電 力	29	92.6	223	94.1	138	93.1	1,069	93.1
	計	164	95.6	1,246	95.5	831	96.1	6,381	94.8
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	90	94.6	723	95.2	474	95.0	3,796	95.2
	産業用電力	99	92.5	705	96.0	900	100.3	6,238	100.1
	(再掲)大口電力	(66)	(90.5)	(467)	(94.6)	(717)	(100.9)	(4,883)	(100.7)
	特定規模計	189	93.5	1,428	95.6	1,374	98.4	10,034	98.2
販売電力量 計		353	94.5	2,674	95.5	2,205	97.5	16,415	96.9

大口電力の産業別内訳

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	27.7	87.4	189.9	86.3
化 学	10.9	89.7	70.1	104.9
紙・パルプ	9.6	81.9	78.5	97.0
鉱 業	3.0	100.0	21.7	100.3
織 維	1.5	106.8	10.3	108.3
鉄 鋼	3.4	112.4	23.1	116.1
そ の 他	10.4	99.4	74.3	98.4
計	66.5	90.5	467.9	94.6

【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、昨年の残暑による需要増の反動に加え、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、対前年比96.3%となった。

電灯等の低圧需要の10月分は、検針期間が、前月(9月)の検針日～当月(10月)の検針日の前日までの1か月間であり、昨年の9月下旬ならびに10月上旬の残暑による需要増の反動が影響する。

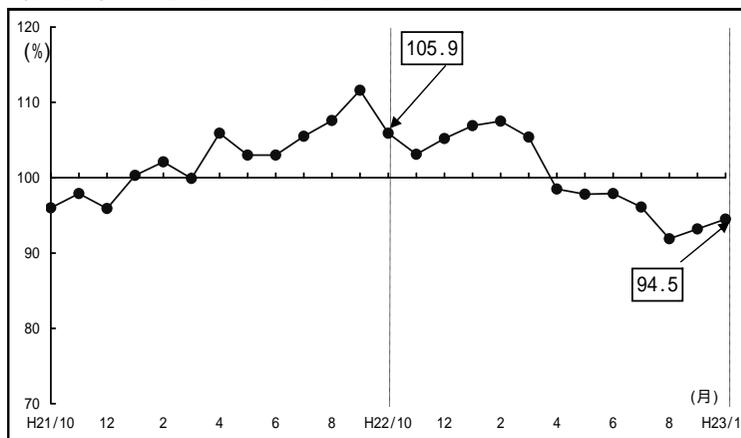
事務所ビル・大型商店などの「業務用」については、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、対前年比94.6%となった。

産業用の「大口電力」は、販売電力量のウェイトの高い、機械、化学、紙・パルプなどで前年を下回ったことから、対前年比90.5%となった。

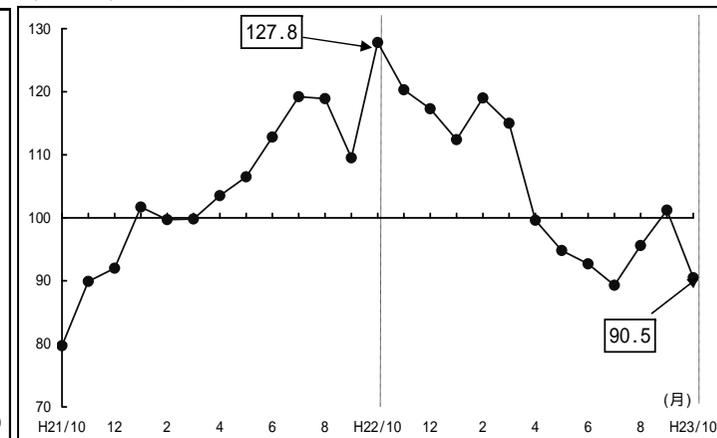
【参 考】

- 販売電力量は、平成23年4月以降、対前年比7ヵ月連続でマイナス(参考1)
- 大口電力は、平成23年8月(95.6%)以来、対前年比2ヵ月ぶりでマイナス(参考2)

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 高知市内の平均気温

	9 月				10 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実 績	26.8	26.9	22.7	25.4	20.6	20.5	19.2	20.1
平年差	0.5	2.1	0.3	0.7	0.7	0.8	2.0	0.8
前年差	2.0	0.4	1.3	1.0	1.3	0.8	0.2	0.6